



## セーフコミュニティ 「子どもの安全分野」の目標と取組

## 【目標】

家庭内等での事故・けがの減少

子育て中の親への支援

## 【取組】

家庭内等での事故・けがに関する情報の発信

児童への安全教育

子育てに悩みがある保護者の相談及び子育て体験談の情報発信

など

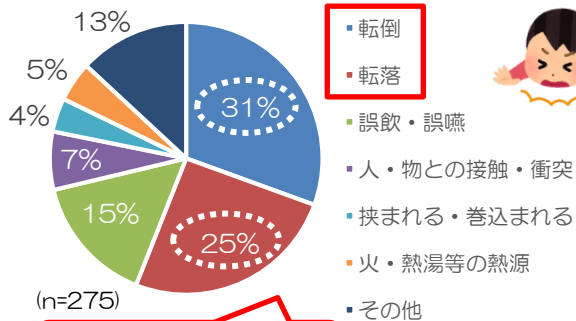
など



今回は、子どもの安全分野の取組のうち、「家庭内等での事故・けがに関する情報の発信」の取組で発信している主な情報についてお伝えします。

## 子どもを不慮の事故から守りましょう

## 一般負傷事故種別の救急搬送人数の割合



約6割が転倒・転落

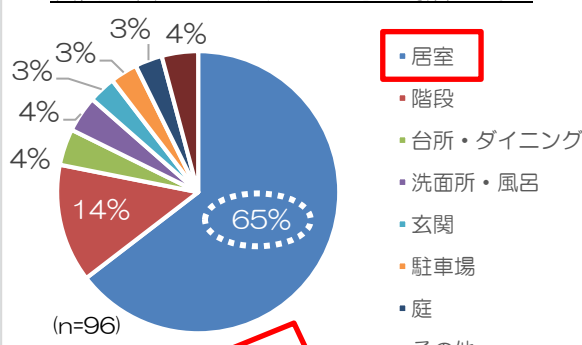


子どもは体に比べて頭が大きく、重心が高いため、バランスが悪く転倒しやすいです。また、転落すれば頭部から落ちてしまう可能性が高いです。

【出典】救急搬送データ（鹿児島市）、両性、0～6歳、2022年度

自宅内の危険な箇所や気を付けるポイントをまとめた「危険箇所マップ」を鹿児島市ホームページに掲載しています。ぜひご利用ください。

## 転倒・転落の自宅内での発生場所の割合



約7割が居室で発生

じゅうたんが滑って転ぶ、ソファから転落するなどが起こっています。滑り止めを付けるなどして子どもの行動に目を配りましょう。



危険箇所マップ

## 第12回セーフコミュニティ推進フォーラムを開催します！

令和5年7月7日（金）14:00～15:35  
かごしま市民福祉プラザ 大会議室

高齢者の安全に関する講演などをお聞きいただけます。

ぜひ、ご参加ください。

お申し込みは 鹿児島市役所安心安全課 へ！  
(Tel.099-216-1209)

## データとセーフコミュニティ活動とのつながり

事故やけがに関するアンケート調査などのデータの状況やセーフコミュニティ活動の仕組みを分かりやすくご説明します。

## 講演会

演題：フレイル(※) 予防で健康な未来を

講師：鹿児島大学 医学部保健学科理学療法学専攻  
教授 牧迫 飛雄馬氏

(まきざこ ひゅうま)

(※)フレイルとは、加齢により心身が老い衰えた状態を指し、健康と要介護の中間の段階とされています

